

## 1. 働く女性の「出産後の就業」についての意識

人材不足や女性の社会進出が進むなか、かつてのように結婚や出産を機に仕事を辞めるという女性は減少傾向にあり、子供を生んだ後も仕事を続ける女性は増加しています。一方で企業としては、産休・育休復帰後の社員の就業への意識も気になるところです。エン・ジャパン株式会社が同社のサイト『エン転職 WOMAN』の利用者で、子育て中の女性を対象に行った「ワーママ(ワーキングマザー)の就業意識」調査(回答者 368名)によると、「出産前と比較して、仕事への意欲はどう変化しましたか?」という質問に対して、「上がった(上がった、変わらず高い)」が46%、「変わらない(普通)」が36%となり、「下がった(下がった、変わらず低い)」と答えた割合は18%となったそうです。仕事への意欲が下がる人もいる一方、全体としては就業意欲を維持している女性が多いことがわかります。職場復帰後の女性にとって、会社の職場環境は、仕事を続けていけるかいけないかを左右する大きな問題です。調査では「出産前と比較した仕事への意欲に職場環境で影響をおよぼしているものを教えてください(複数回答可)との質問に対する回答として、意欲が上がった方と下がった方の結果を比較したところ、次のような結果となったそうです。①「周囲からの評価」(意欲が下がった方:46%、上がった方:35%)、②「職場の人間関係」(同:42%、32%)、③「会社からの期待」(同:35%、23%)。「責任のある仕事を任せてもらえない」「勤務時間が短いただけで評価が下がった」など、会社や周囲からの期待が低いことで意欲低下につながっている意見が目立っています。調査では、反対に意欲が上がった影響として、「時間の配慮」や「産前と変わらない評価」をもらったこと等の声があがっています。労使共に負担とならないようコミュニケーションをとりながらの柔軟な対応や、今後は従来の働き方の見直しも求められてきそうです。



## 2. 傷病手当金・出産手当金の計算方法が変わります

健康保険には、業務外の病気・ケガによる療養のために仕事を休み、給与(報酬)を受けることができないときに支給開始から1年6ヶ月の範囲で申請し支給ができる傷病手当金、出産日(出産予定日より遅れた場合は出産予定日)前42日(多胎妊娠の場合は98日)出産後56日までの期間に出産のために仕事を休み、給与(報酬)を受けることができないときに申請し支給ができる出産手当金の制度がありますが、平成28年4月から給付金額の計算方法が変わります。

これまでの傷病手当金、出産手当金の給付金額の計算方法は、1日あたり[休んだ日の標準報酬月額]÷30日×2/3でしたが、4月からは[支給開始日以前の継続した12ヶ月間の各月の標準報酬月額を平均した額]÷30日×2/3となります。支給開始日とは一番最初に給付が支給された日のことです。12ヶ月の直近の10ヶ月の標準報酬月額が30万円とそれ以前の標準報酬月額が26万円だったとすると、[(26万円×2ヶ月+30万円×10ヶ月)÷12ヶ月]÷30日×2/3=6,520円が支給となります。なお、支給開始日以前の期間が12ヶ月に満たない場合は、支給開始日の属する月以前の継続した各月の標準報酬月額の平均額と、28万円(当該年度の前年度の9月30日における全被保険者の同月の標準報酬月額を平均した額)を比べて少ない方の額を使用して計算します。

## 3. 社会保険料の変更のお知らせ ~平成28年3月、4月分より~

3月と4月に社会保険料率が変わります。該当の会社様には、別途ご案内をさせていただきますので、変更処理をお願いいたします。

- ・雇用保険料率の変更 (H28.3月分より): 一般の事業の場合 1.1%へ
- ・健康保険・介護保険料率の変更 (H28.4月分より): 東京都の場合 9.96%へ
- ・健康保険 標準報酬月額上限の変更(H28.4月分より): 47級→50級(1,390,000円へ)

あおぞら人事・労務サポート  
特定社会保険労務士  
秋山幸子 (登録NO.13050514)  
三鷹市下連雀3-38-4  
三鷹産業プラザ307  
TEL:0422-24-8625  
FAX:0422-24-8605  
E-mail: info@aozora-sr.com  
URL: www.aozora-sr.com

責任編集: 社会保険労務士  
秋山・隅谷・玉川・安部(武蔵野統括支部)

### ● 編集後記 ●

先日、さっぽろ雪まつり見物に行ってきました。全長1.5kmの大通り公園に、200基以上の雪像。雪像に使用された雪の量は5トントラックで約6,500台!会場では陸上自衛隊が雪像を作成している様子もビデオも流れていたのですが、力仕事に加え、芸術性も問われる作業です。特に『進撃の巨人像』は迫力がありました。夜は雪像のライトアップとプロジェクションマッピングで、魅せ方の進化も感じました。隣のすすきの会場でも、約60基の氷像が並んでおり、総量で180トン以上の氷が使用され、スケールの大きさに驚きました。なにより北海道は格別に寒い&そして大雪でもダイヤも乱れず。東京のそれとは違いました。(秋山)